

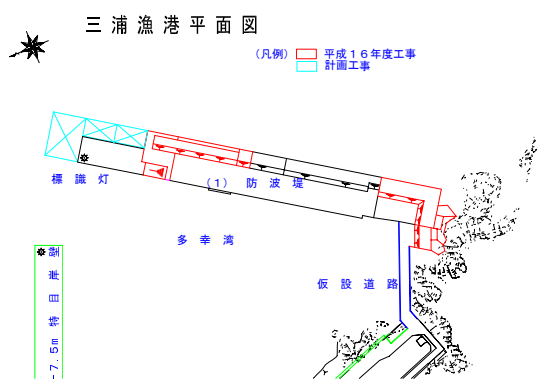
「こうかん・くうこう」だより kouzushima 神津島

発行：平成17年3月

高波をブロック！！ 【三浦漁港に強力なコンクリートの壁】

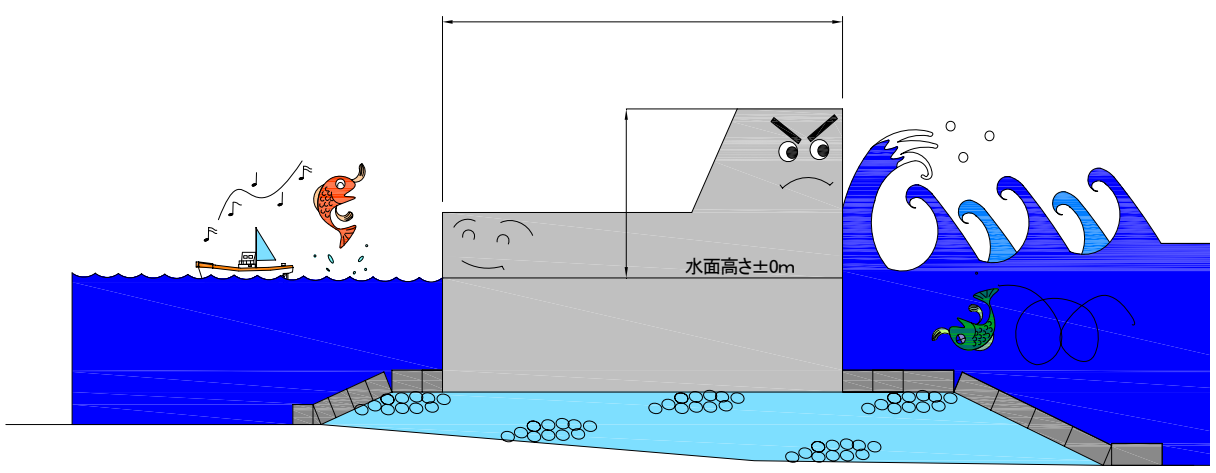
昨年は10個の台風が日本を襲いました。このうち6号、22号、23号の3個の台風が神津島に影響を与えました。さて今年は幾つの台風がやって来るのか。厄介なお客さん。でも、海洋のど真ん中の神津島。避けるわけには行きません。

こんなとき、三浦漁港に強力な武器が備わりました。巨大な防波堤が姿を現しました。



(2005年2月21日 撮影)

この防波堤により、今まで台風時に三浦漁港に侵入してきた高波がシャットアウトされます。より静穏度の高い港になること確実です。



(荒波をうち消す三浦漁港 防波堤)

★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

港湾空港工事事務所が引っ越します。
神津高校の隣、旧武道館の跡に「大島支庁神津島出張所」庁舎が建築中です。
平成17年4月より港湾空港工事事務所もこの庁舎に入ります。
平成5年より11年間、現事務所で皆さんに大変お世話になりました。

✈✈ 神津島空港用地の特性 ✈✈

神津島空港の滑走路は水平だと、思っていないですか？

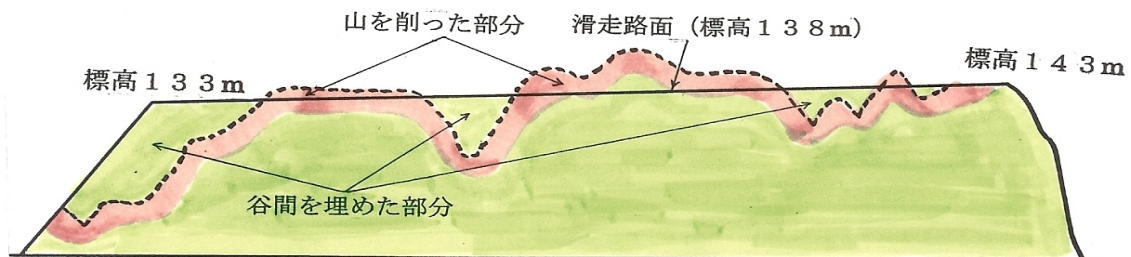
実は、滑走路の東側と西側では約10m高低差（東高西低）のある、少し傾斜している滑走路なのです。

神津島空港建設に当たっては、数年にわたり風向・風速の調査を行い、現在の場所に決定されました。

空港用地内は「山あり、谷あり」の起伏にとんだ地形のため、下の図のように山を削り、削り取った土砂で谷を埋めて用地造成を行ないましたが、盛った土砂が雨などで崩れるなどの難工事でした。

水平にするには膨大な土砂を必要としたため、傾斜の付いた滑走路となりました。滑走路は1.3%の勾配になっています。

神津島空港をご利用のとき、よおご覧ください。傾いているのが実感できます。



✈✈ 浸透池（シントウイケ）ってなあに？ ✈✈

神津島空港の中には池が7つあります。浸透池と呼びます。

前記のとおり大量の土砂を盛った滑走路は水が大敵です。特に多量の雨が降る神津島空港はこの雨水の処理が重要な課題です。この課題の解決に役立っているのが浸透池です。

浸透池には、雨水を集めるためのゴムシートが張ってあり排水溝を通して、浸透池（中に井戸があります）に導き、地中深く（約30m）に沁み込ませます。



この井戸は水を汲み上げるためではなく、逆に沁み込ませるための井戸なのです。

ちなみに、この池には「蚊が発生しないように」金魚を放しています。この金魚の稚魚は、物忌奈命神社の夏祭りの「金魚すくい」で島の子供さんに喜んでもらっている、「あの金魚」です。

★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

港湾・空港へのご意見、ご要望、ご質問は下記まで

◎ 大島支庁神津島港湾空港管理事務所 TEL：04992-8-1311 E-mail:rjaz1313@orion.ocn.ne.jp

◎ 大島支庁神津島港湾空港工事事務所 TEL：04992-8-1211（平成17年3月末まで）

※平成17年4月より TEL：04992-8-0311 E-mail:S0000046@section.metro.tokyo.jp